

小規模施設の耐震診断結果とその対応について

板橋区耐震改修促進計画（以下「促進計画」という。）で対象としている施設については、平成32年に改築予定の交通公園管理棟を除き対応を終えている。今般、促進計画の対象になっていない施設のうち、居室があり児童等が利用する施設及び耐用年数以内で100㎡を超える施設について、耐震性の調査を実施した。その結果及びその対応状況について報告する。

1 耐震診断の結果及び対応

施設名	築年数	結果	数 値				対 応
			軸	Is 値	q 値	CT・SD 値	
赤塚小学校 あいキッズ	49年	△	X	0.301	1.20	/	年内校舎内へ移転
		△	Y	0.405	1.62		
北野小学校 あいキッズ	36年	×	X	0.275	1.11	/	年内校舎内へ移転
		×	Y	0.106	0.42		
向台保育園	52年	○	X	0.699	/	0.714	年度内補強工事
		△	Y	0.491		0.627	
赤塚植物園 管理棟	36年	△	X	0.500	2.00	/	次年度以降、農業園整備等に合わせ検討
		△	Y	0.460	1.85		

○：倒壊の危険性が低い（ $0.6 \leq I_s$ ）かつ（ $1.0 \leq q$ 又は $0.3 \leq CT \cdot SD$ ）

△：倒壊の危険性がある（○・×以外）

×：倒壊の危険性が高い（ $I_s < 0.3$ ）又は（ $q < 0.5$ ）

2 今後の対応

上記4施設を除く促進計画の対象でない施設については、『「公共施設等の整備に関するマスタープラン」に基づく個別整備計画』で示した移転・改築等により対応するほか、劣化状況等を注視しながら適切な維持管理を行っていく。

<参 考>

耐震診断基準（Is 値と CT・SD 値又は q 値の組合せで安全性を判断）

Is 値：建物の強度・粘り強さ・形状・経年変化を考慮した総合的指標

CT・SD 値：建物の形状・累積強度から求める指標〔鉄筋コンクリート造〕

q 値：水平方向への強さに係る指標〔鉄骨造〕

促進計画の対象施設

学 校：2階建て以上かつ床面積200㎡以上（体育館は1階建て以上）

学校以外：2階建て以上かつ床面積300㎡以上